

# 書類交付及び教務ガイダンス

国際文化学部日本文化学科1年次

# 本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

# 書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

## ステージ上の配付物



順路

- ① まずステージ上の配付物を一人一部ずつ取り、座席に座ってください。
- ② 着席の際は、**番号札がついている座席**に座ってください。
- ③ 着席後、アンケート説明資料を確認し、  
アンケートに**必ず回答**してください。  
(アンケートの回答をもって出席とします)

# 本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

# アンケート

## 1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

- ① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A smartphone screen displays a survey form titled "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). The form includes a "送信" (Send) button and a text input field for the student ID number. A red dashed arrow points from the student ID number on the student ID card to this input field.

ガイダンス座席位置  
確認について

匿名で送信します。

\* 必須

1. 学籍番号\*

回答を入力してください

送信

このコンテンツはフォームの閲覧者が作成したものです。  
送信したコンテンツはフォームの閲覧者に送信されません。パスワードを記録しないでください。



# 本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

# 教務ガイダンス

国際文化学部日本文化学科1年次



# 配布資料

## ◎本日の配布資料

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ

封筒の中に、**「配布書類及び解説」（A4縦1枚）**に記載されているものが、すべて入っているか確認してください。



大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

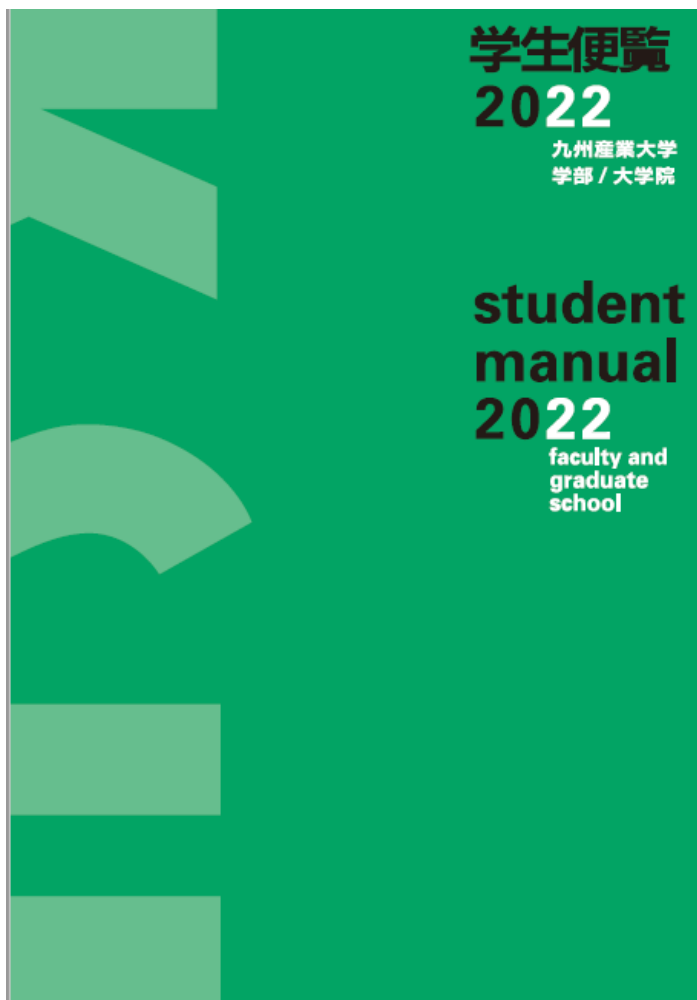
大学生活を過ごす上で

# 高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で <b>選択</b> する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって <b>異なる</b> (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	<b>単位制</b> (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

**大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」**

# 学生便覧



在学中、すべてのルールは  
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

## 1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、  
休暇期間・祝日授業日等  
を掲載

# 学年暦

前学期

後学期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業開始日	4/8～全14回					9/15～全14回						
補講日	4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,6/25,7/9,7/23					9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,12/17,1/11,1/12						
定期試験				7/25～7/30						1/16～1/21		
祝日授業実施日				7/18		9/19,9/23,11/23						
成績公開日					8/30							3/10
休業開始日				夏季休業 7/31～			冬季休業 12/27～					

# K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について  
閲覧可能なWEBサイト  
**※毎日確認すること**

## 時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

### 教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

#### トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

#### 学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。  
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。  
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

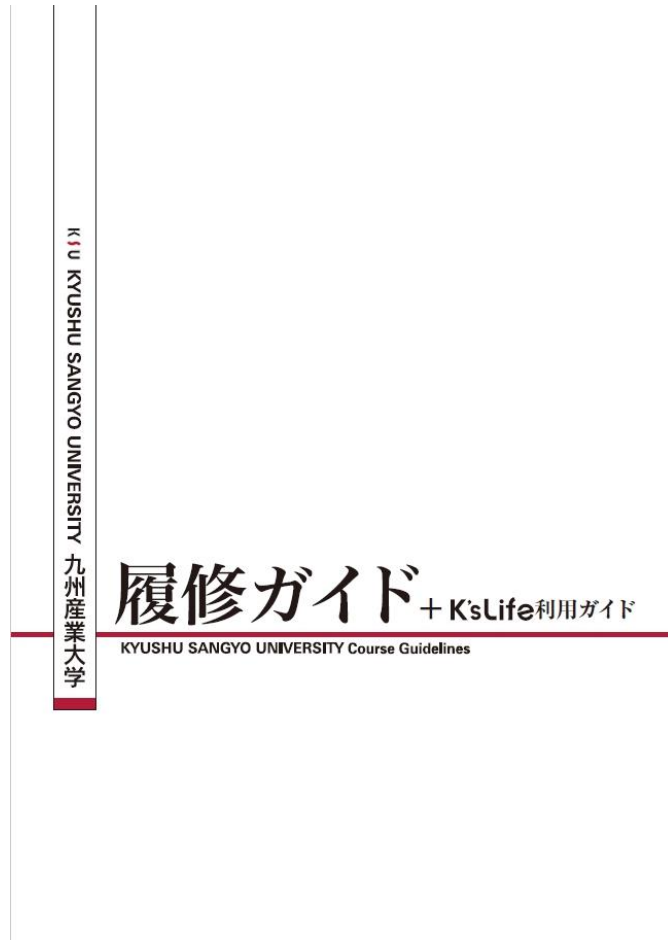
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



# 履修登録



自分で時間割を作成し、  
K'sLifeで授業科目を  
**WEB登録**すること

本年度の履修に関する手引書。  
講義受講の注意事項を記載。  
必ず一読し、履修登録すること。

# シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	<a href="#">千 相哲</a> <a href="#">木村 俊大</a> <a href="#">古賀 初生</a> <a href="#">栗原 優</a> <a href="#">末松 剛</a> <a href="#">山下 永子</a> <a href="#">小池 高史</a> <a href="#">高山 和幸</a> <a href="#">田代 雅彦</a> <a href="#">基橋 誠</a> <a href="#">大万 愛子</a> <a href="#">宮岡 祐司</a> <a href="#">森下 俊一郎</a> <a href="#">豊后 茂</a>		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義章	N 3 0 2 教章	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	<p>地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】</p>		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を担う		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	<p>事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度)</p> <p>事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること</p>		
E 評価基準GradingCriteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C)60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義章は準常指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教章のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目RelatedClass	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載  
**K'sLifeで閲覧可能**

※シラバスを確認の上で  
履修登録すること



# 出席

入室登録	授業開始 <b>10分前</b> から 授業開始 <b>(チャイム)</b> まで
退室登録	授業終了 <b>15分前</b> から 授業終了 <b>10分後</b> まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに  
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

# 休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。  
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

# 大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

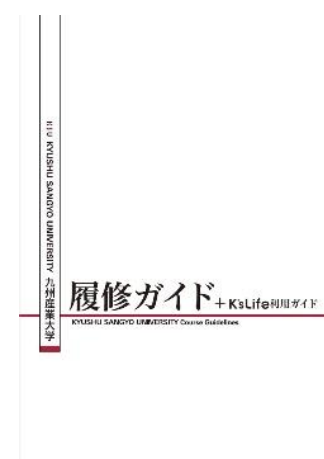
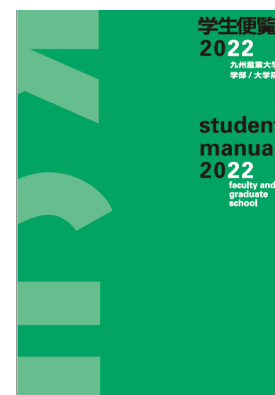
2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・  
授業時間割表を参照すること

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

## 「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件  
別表第10は、P.68に記載。  
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定  
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や  
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

**秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)**・不可(D/E)

**単位修得**

# 教育課程

## 基礎教育科目

広く様々な学問を学び  
人間力を養う

## 外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う  
(英語・初修外国語)  
「聞く・話す・読む・書く」

## 専門科目

特定の分野について  
専門的に学ぶ  
(学部・学科で異なる)

**卒業（124単位以上）**

# 卒業要件【選択必修・選択科目について】

## 国際文化学部履修規程第2条：卒業要件

国際文化学部

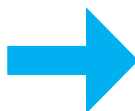
授業科目区分	授業科目及び単位数								
	国際文化学科			日本文化学科					
専門科目	学部共通科目	必修科目	8単位	さらに専門科目及び外国語科目から10単位以上 (基礎教育科目は含まない)	学部共通科目	必修科目	8単位	さらに専門科目及び外国語科目から14単位以上 (基礎教育科目は含まない)	
		選択科目	6単位以上			選択科目	6単位以上		
	学科共通科目	必修科目	26単位		学科共通科目	必修科目	20単位		
		選択必修科目	2単位以上			選択必修科目	2単位以上		
		選択科目	4単位以上			選択科目	—		
	学科展開科目	超エキスパート科目	16単位以上		学科展開科目	日本文学科目	4単位以上		さらに 28単位 以上
		国際教養科目	18単位以上			国語学科目	4単位以上		
						民俗学科目	2単位以上		
						歴史学科目	2単位以上		
	展開共通科目	4単位以上	展開共通科目		4単位以上				
基礎教育科目	導入科目	2単位	20単位以上	導入科目	2単位	20単位以上			
外国語科目	2外国語14単位以上 (英語8単位以上)			2外国語10単位以上 (英語6単位以上)					
合計	124単位以上			124単位以上					

# 卒業要件

国際文化学部 日本文化学科		※印は必修科目 △印は選択必修科目							
区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		卒業要件
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部 必修科目	※九州学	2							8単位
	※日本文化入門	2							
	※アジア文化入門	2							
	※欧米文化入門	2							
専 門 科 目	日本語教育学入門	2	日本語教授法	2	日本語教育実習 (2)				6単位以上
	日本語教育文法論	2	日本語教育授業研究	2					
	言語学	2	人文社会概論	2	現代思想 (2)				
	情報処理演習	2	古典に学ぶ	2	国際協力論 (2)				
学 科 共 通 科 目	※ゼミナールⅠ	2	※ゼミナールⅡ	4	※ゼミナールⅢ	4	※卒業論文・卒業研究	8	20単位
	※日本文化研究基礎	2							
	△文学実地踏査A	2							
	△文学実地踏査B	2							
展 開 目	海外研修	2	プロジェクト演習 (2)						44単位(さらに28単位以上)
	学外実習	2							
	日本文学	2	日本古典文学概論	2	日本文学特講 (2)				
	日本文学史	2	日本近代文学概論	2	日本古典文学特講 (2)				
展 開 目	国語学	2	文章表現法A	2	日本語音韻論 (2)				4単位以上
	日本語表記論	2	文章表現法B	2	教科指導法A (国語) (2)				
	日本語文法論	2	日本語文法論	2	教科指導法B (国語) (2)				
	国語科教育法A	2	国語科教育法A	2					
展 開 目	民俗学	2	民俗学概論	2	民俗学特講 (2)				2単位以上
			伝承文学論	2	比較民俗論 (2)				
			伝統文化論	2					
			言葉と文化	2					
展 開 目	日本近現代史	2	歴史学概論	2	歴史学特講 (2)				2単位以上
			日本前近現代史	2	考古学 (2)				
			歴史文献講読	2					
			文学と歴史	2					
展 開 目			文芸創作	2	メディア文化論 (2)				4単位以上
			文芸研究	2	出版文化論 (2)				
			漢文学	2	言葉と社会 (2)				
			書道実技	2	くずし字読解 (2)				
展 開 目			恋愛文芸論	2					

## 〈専門科目〉 年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が  
全て記載されている。



1年生は「第1年次」の  
配当科目が履修可能

・※印：必修科目、△：選択必修科目、その他：選択科目です。

・必修科目は、教務課で登録します。



# 卒業要件【外国語科目について】

## 〈基礎教育科目・外国語科目〉

### 年次別授業科目配当表

### 4年間で履修できる基礎教育科目

### と外国語科目が

### 全て記載されている。

### 《卒業するまでに必要な単位数》

導入科目 2単位

学修基礎科目

キャリア科目

文理芸融合科目

教養科目

20単位  
以上

### 《卒業するまでに必要な単位数》

英語 6 単位以上、初修外国語

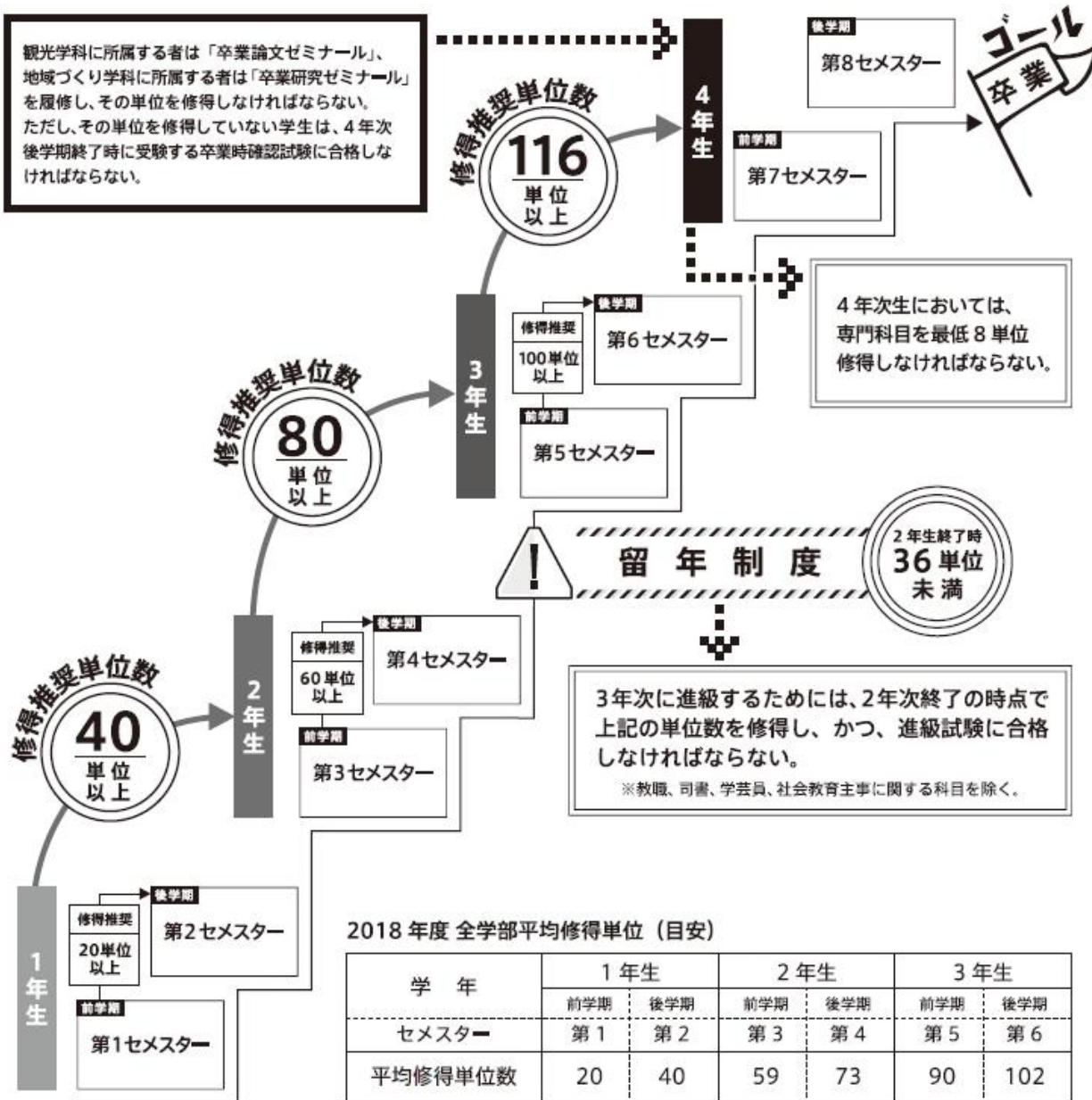
4 単位以上、計 10 単位以上

区分	第1年次 授業科目(単位)	第2年次 授業科目(単位)	第3年次 授業科目(単位)	第4年次 授業科目(単位)	卒業 要件	
基礎教育科目	科目導入 大学スタディスキル (2)				20 単 位 以 上	
	学修基礎 英用国語(文章力) (2)	英用国語(伝達力) (2)				
	英用数学(計算力) (2)	英用数学(活用力) (2)				
	A1導入 (2)					
	プログラミング導入 アーテリナラシー (2)					
	キャリア形成基礎 キャリア形成基礎論 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)			
	主権者リテラシー (2)					
	消費者リテラシー (2)					
	九条憲法力 (2)					
	学生サポート 学生ボランティア入門 (2)					
	学生ボランティア入門 (2)					
	文芸芸融合科目 文芸芸融合科目 英読クローズ講座 (2)		インテラティブディスカッション (2)			
	英読クローズ演習 (2)					
	英読力育成演習 (2)					
	課題解決演習 (2)					
教養演習 (2)						
英読クラブ講座 (2)						
英読クラブ演習 (2)						
科目 人文系科目 社会科学科目 自然科学科目 保健体育科目	日本の歴史 (2)				20 単 位 以 上	
	世界の歴史 (2)					
	哲学の世界 (2)					
	文学の世界 (2)					
	心理学的世界 (2)					
	文化人類学 (2)					
	美学・美術史 (2)					
	芸術の世界 (2)					
	人文科学の世界 (2)					
	社会学科目 法学 (2)					
	日本国憲法 (2)					
	現代の政治 (2)					
	地理の世界 (2)					
	人権・平和問題 (2)					
	ジェンダーと社会 (2)					
社会科学の世界 (2)						
自然科学科目 科学の世界 (2)						
地球環境 (2)						
生物の世界 (2)						
くらしの中の数学 (2)						
自然科学の世界 (2)						
保健体育科目 スポーツ科学演習 (2)						
心と身体の健康 (2)						
外国語科目	Reading & Writing I (1) Reading & Writing II (1) Reading & Writing III (1) Reading & Writing IV (1) Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1) English Plus (1) English Expressions (2)				6 単 位 以 上	
	Four Skills I (2) TOEIC Plus (2)	Four Skills II (2) Reading Focus (2)	Labo Training I (1) Writing Focus (2)	Labo Training II (1) Business English (2)		
	Domestic Job Training (4) English Pronunciation (2)	Overseas Job Training (4) Introduction to Translation (2)	Global Perspectives (2)			
初修外国語科目	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	英 語 6 単 位 以 上 、 初 修 外 国 語 4 単 位 以 上	
	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)		
開講科目 日本語	アメリカン日本語 (開・新) A (1) アメリカン日本語 (開・新) A (1)	アメリカン日本語 (開・新) B (1) アメリカン日本語 (開・新) B (1)	アメリカン日本語 (開・新) C (1) アメリカン日本語 (開・新) C (1)	アメリカン日本語 (開・新) D (1) アメリカン日本語 (開・新) D (1)	日 本 語 4 単 位 以 上	
	アメリカン日本語 (開・新) E (1) アメリカン日本語 (開・新) E (1)	アメリカン日本語 (開・新) F (1) アメリカン日本語 (開・新) F (1)	アメリカン日本語 (開・新) G (1) アメリカン日本語 (開・新) G (1)	アメリカン日本語 (開・新) H (1) アメリカン日本語 (開・新) H (1)		
専修科目	日本の歴史 I (2) 日本の歴史 II (2) 日本の文化 I (2) 日本の文化 II (2)	日本の政治経済 I (2) 日本の政治経済 II (2) 一般日本事情 I (2) 一般日本事情 II (2)				

※ [クロス科目] は、各学部の学生が交差(クロス)して取り組む授業科目を指す。  
 ※ [コラボ科目] は、各学部の教員が協働(コラボレーション)して実施する授業科目を指す。

# 卒業要件【修得推奨単位について】

観光学科に所属する者は「卒業論文ゼミナール」、地域づくり学科に所属する者は「卒業研究ゼミナール」を履修し、その単位を修得しなければならない。ただし、その単位を修得していない学生は、4年次後学期終了時に受験する卒業時確認試験に合格しなければならない。



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「セメスター制」という。  
1年間に2セメスター実施。

# 卒業要件【履修制限について】

国際文化学部履修規程第8条：履修制限

- 1年間で履修できる上限単位数

**44単位**

- 半期で履修できる上限単位数

**28単位**

※集中講義科目は履修上限には含まれません。

# 卒業要件【履修制限について】

## 入学から卒業までの履修制限



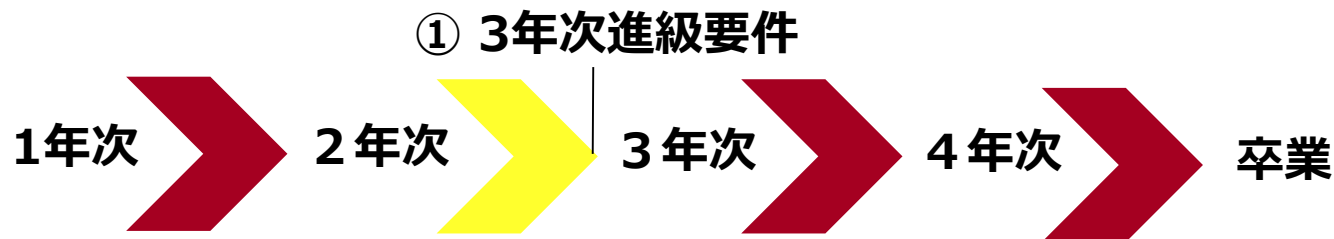
各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。

# 卒業要件【履修制限について】

## ◀① 3年次進級要件▶

1年次及び2年次に配当されている授業科目を36単位以上修得していなければ2年次のままとし、3年次に進級することができない。

学生便覧 P.222



# 卒業要件

## ◀② 国際文化学部卒業要件▶

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**  
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

国際文化学部

授業科目区分	授業科目及び単位数							
	国際文化学科				日本文学学科			
専門科目	学部共通科目	必修科目	8単位	(基礎教育科目は含まない) さらに専門科目及び外国語科目から10単位以上	学部共通科目	必修科目	8単位	(基礎教育科目は含まない) さらに専門科目及び外国語科目から14単位以上
		選択科目	6単位以上			選択科目	6単位以上	
	学科共通科目	必修科目	26単位		学科共通科目	必修科目	20単位	
		選択必修科目	2単位以上		選択必修科目	2単位以上		
	学科展開科目	類型エキスパート科目	16単位以上		学科展開科目	選択科目	—	
			国際教養科目			18単位以上	日本文学科目	
国語学科目		4単位以上						
民俗学科目	2単位以上							
基礎教育科目	導入科目	2単位	20単位以上	導入科目	2単位	20単位以上		
		2外国語14単位以上 (英語8単位以上)			2外国語10単位以上 (英語6単位以上)			
合計	124単位以上				124単位以上			

学生便覧 P.221

### ③ 卒業要件

1年次

2年次

3年次

4年次

卒業

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

**履修登録の仕方（時間割作成）**

大学生活を過ごす上で

# 授業時間割

## 本日配布している授業時間割表は3種類

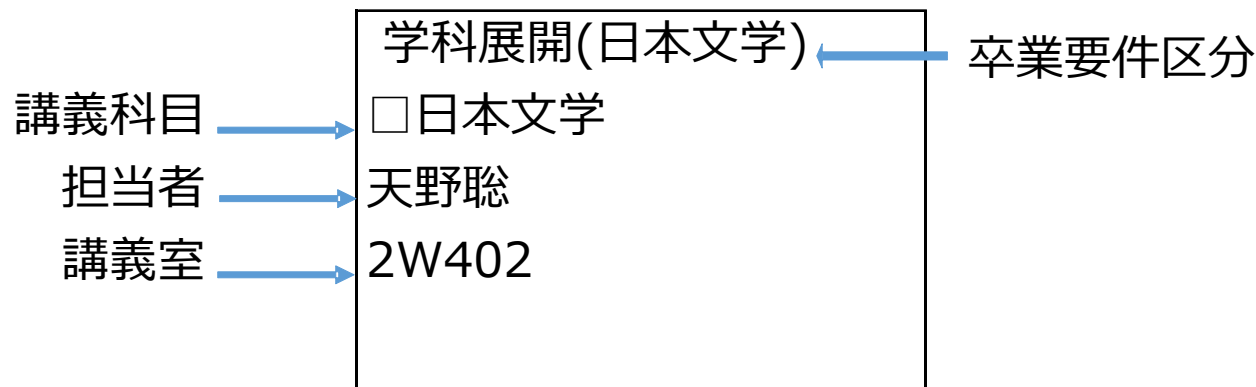
- ① 「国際文化学部科目授業時間割表」
  - ② 「KSU基盤教育科目・留学生（日本事情）科目」
  - ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」
- ※ ②～③は全学共通



# 授業時間割【見方について】

授業時間割には、  
期別（前・後学期・通年） ・ 講義科目 ・ 担当者 ・ 講義室が記載

## ・ 時間割表の見方



「国際文化学部授業時間割表」の下段に時間割の見方を記載  
しているので確認してください。



# 授業時間割【見方について】

## 教室の見方

N101	・・・	1号館1階北側	101教室
2E301	・・・	2号館3階東側	301教室
8315	・・・	8号館3階	8315教室
12107	・・・	12号館1階	12107教室
42番	・・・	中央会館4階	42番教室
パソソ教室1	・・・	中央会館4階	パソソ教室
パソソ演習室2	・・・	中央会館3階	パソソ演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
- ②受講者数等の理由で教室変更
- ③担当者変更等

※教務部HPに掲載



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも  
記載されています。

履修ガイドP.6

# 授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
  - 「Listening & Speaking I・II」
- 英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。



# 授業時間割【事前に登録された科目について】

事前に履修登録されている専門・基礎教育科目

## 《前学期》

- 大学スタディスキル
- キャリア形成基礎論（基礎教育科目）
- \* アジア文化入門
- \* 日本文化入門
- \* 日本文化研究基礎

## 《後学期》

- \* ゼミナール I
- \* 九州学
- \* 欧米文化入門

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。

# 国語・数学の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。この場合は**必ず履修し、単位を修得**してください。

国語科目：「実用国語(文章力)」「人文科学の世界」  
「実践クロス講座（応用国語）」

数学科目：「実用数学（計算力）」

# 新規科目の紹介【令和4年度からの科目】

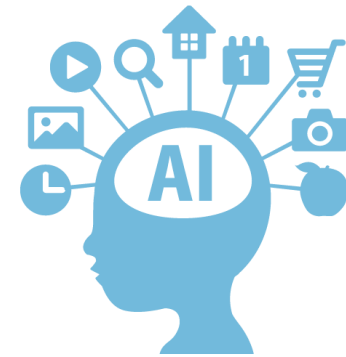
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材 (ダイバーシティ) を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、  
**積極的な**受講をおすすめします。

# AI・データサイエンス副専攻について

## AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



\* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

# 履修登録【期間について】

## ●履修登録期間

2022年4月7日(木)10:00～4月9日(土)23:59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修すること。

## ●前学期履修変更期間

2022年4月11日(月)10:00～4月14日(木)23:59まで

## ●後学期履修変更期間

2022年9月8日(木)10:00～9月21日(水)23:59まで

## ※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。



# 試験【定期試験・追試験】

## 前学期定期試験

2022年7月25日(月) ~ 7月30日(土)まで

## 後学期定期試験

2023年1月16日(月) ~ 1月21日(土)まで

## ○追試験

**病気、その他やむを得ない事由**で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

# 教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等  
資格取得が可能

## 《教職課程》

1年次後学期から履修開始

**7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）**

## 《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

**4月7日（木） 17:00～ S201教室**

# 日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

**国際文化学部日本文化学科 1年生**

**日程：4月4日（月）12：30～**

**場所：1号館2階 S201教室**

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

## 教科書購入Webサイト

[日程]Webサイト公開期間

4/1(金)～5/31(火)

[場所]3号館8階教科書受渡所

4/4(月)～4/28(木)

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

### ※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。



## 100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



## 長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、  
インターンシップ参加など）

# 出席

## [本学学生のデータ分析の結果]

---

授業全体の出席率が

 **80%以下** になると、

単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、

普段から授業にはきちんと**出席**すること！

# 三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率.GPA.修得単位数が低い学生については、三者面談。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には**必ず出席**すること！



# 本日以降スケジュール①

《4月4日（月）》

14:00~15:00 **WEB履修登録説明会**

1号館6階 OA教室2

※学生便覧・履修ガイド・授業時間割表を**必ず持参**すること

15:00~17:00 **新入生オリエンテーション**

1号館1階 S101教室

《4月5日（火）》

15:30~

**健康診断**

3号館8階（受付）

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認

# 本日以降スケジュール②

《4月6日（水）》

12:00~13:00

**総合情報基盤センター説明会**

1号館2階 N204教室

13:00~14:00

**語学教育研究センター説明会**

1号館2階 S207教室

《4月7日（木）》

10:00~

**履修登録開始**

《4月8日（金）》

**授業開始日**

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認

# 教務課からのお願い

## 1. **電話**に出てください

「092-673-5593または5587」は教務部国際文化学部担当からの大事な連絡です。必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

## 2. 学籍情報を**更新**してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。  
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

## 3. わからないことは何でも**相談**してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。  
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

# コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

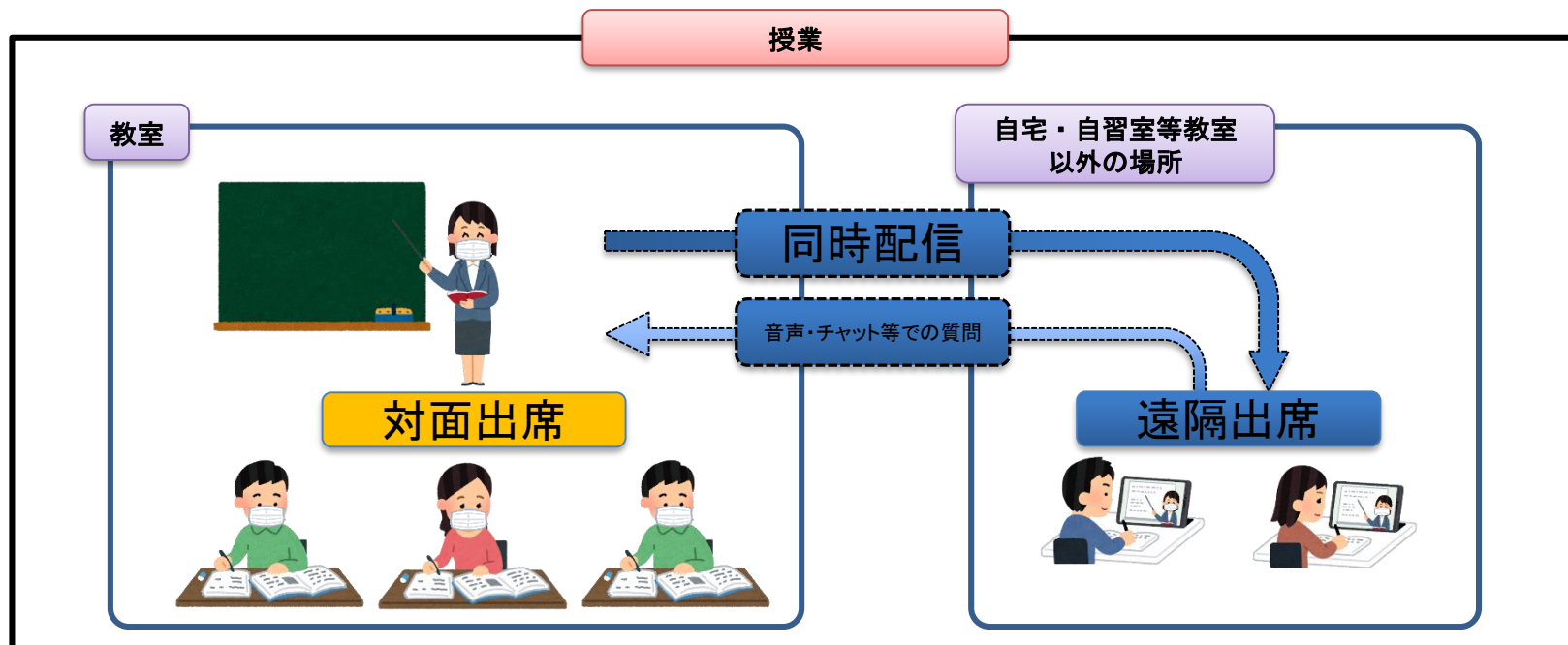
K`s LifeやHPで随時情報を更新していますので、  
**必ず確認**するようにしてください。  
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、  
各自、自己防衛に努めてください。

# 授業の実施方法【基本】

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

## 【ハイフレックス型のイメージ】

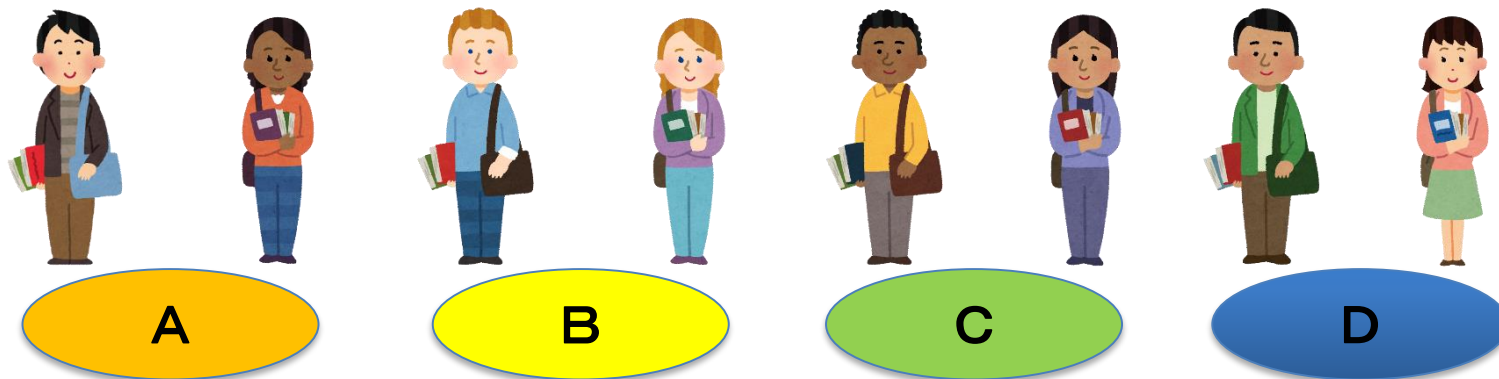


# 対面出席・遠隔出席の調整方法①

## ・ ~グループ分け~

学生の皆さんの受講環境(対面出席と遠隔出席が同日に重ならない)に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA/B/C/Dの4グループに分けます。  
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



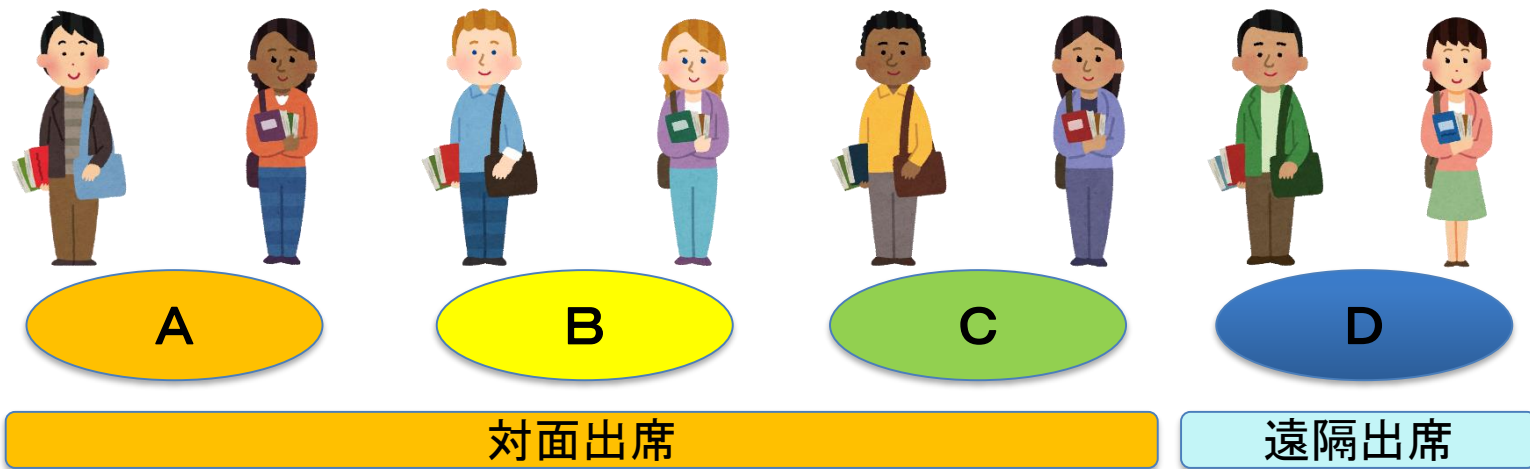
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

# 対面出席・遠隔出席の調整方法②

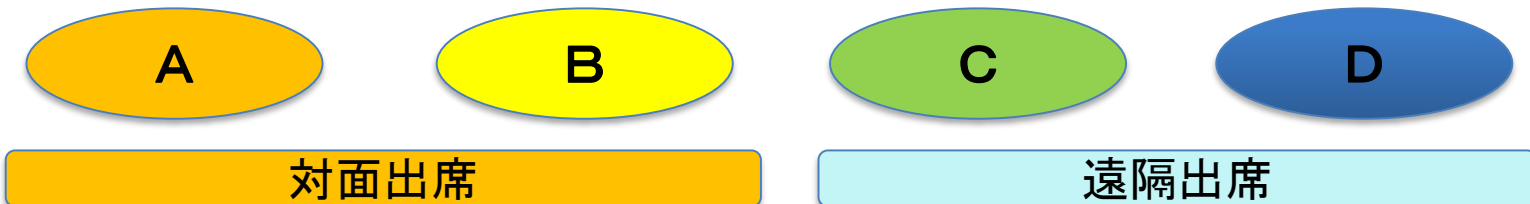
- ～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



# 対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

※出席グループは、K'sLifeの通知及び大学HPで確認してください。



# 学部学科、授業科目の特性に応じた対応

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

